

シャク出版だより

【シカク出版】古賀及子・スズキナオ往復書簡 ZINE

『青春ばかり追いかけている、なにもかも誰より 一番慣れない』発売中!

106ページ 新書サイズ 1200円+税

文筆家・エッセイストの古賀及子・スズキナオが「大人の感情」について交わした往復書簡集。「感情的」という言葉は子どもや若者の特徴のように扱われがちですが、 大人なのに振り回されたり、大人になったから知る感情もあります。そんな大人の感情を見つめ、それぞれの目線で汲み上げる1冊。

シカク・全国のお取り扱い書店で好評販売中! 販売店のリストはQRコードをご覧ください。



(13に3熱烈はしゅう中)

★シカク月報の配布協力募集!

シカク月報を配ってくれるお店やスペースを募集しています。 お礼としてチラシやショップカードを送っていただければ、シカクの店頭や通販で配布いたします。

現在の協力店舗さま 模索舎(東京)/BiblioMania(名古屋)/本屋B&B(東京)/ブックギャラリーボボタム(東京)/FOLK old bookstore (大阪)/古本屋 弐拾dB(広島)/花森書林(神戸)/タコシェ(東京)/なんば紅鶴(大阪)/シネ・ヌーヴォ(大阪)/雑貨屋ミケちゃん(大阪)/ホホホ座(京都)/ロフトブラスワンウェスト(大阪)/オソブランコ(大阪)/solaris(大阪)/誠光社(京都)/恵文社(京都)/(本)ばんばんばん(大阪)/トランスポップギャラリー(京都)/マヤルカ古書店(京都)/OF(岡山)/ON READING(名古屋)/古本屋YOMS(香川)/古本ながいひる(岡山)/エフロノット(大阪)/opal times(大阪)/ンケリコ(大阪)/SOMA(大阪)/SPBS本店(東京)/1003(神戸)/TOKYO PIXEL(東京)/FAITH(東京)/画廊モモモグラ(大阪)/喫茶ベーパームーン(静岡)/旧グッゲンハイム邸(神戸)/フレイムハウス(大阪)/ブックバーひつじが(福岡)/君の好きな花(福岡)

シカク

大阪市此花区梅香1-6-13 火水定休日 平日 14:00~20:00/土日祝 13:00~19:00

[Twitter(X)] @n_SHIKAKU

[Instagram] @konohanashikaku

[Website] http://uguilab.com/shikaku/

★ZINE・同人誌の委託 募集!

シカクではZINE・同人誌のお取り扱いをいつでも募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

★おたより募集!

シカク月報やシカクのお店・イベントの感想などをメール やDMで送っていただけると励みになります。





ごず (gozz) 絵本『ピックのぼうけん』出版記念展

『無人島漂着100日日記』など、箱庭的な作品で多数のファンを持つイラストレーター・ごず(gozz)。初の絵本の出版記念展示です!複製ポスターや 裏話の解説パネル、オリジナルグッズなどが並びます。

【在廊予定】12月28日(土)、29日(日)

12/29 # T











Event News III

年末年始&改装のため、下記期間は休業します!

店舗休業: 2024/12/30 mon ▶ 2025/1/22 thu

※通販のご注文はいただけます。発送は1月21日以降、順次となります。

日本一入りづらいと評判だった入口(右の写真)をついに改装します! 生まれ変わったシカクの入口をどうぞお楽しみに!



2025/ 1/ 19 sun

文学フリマ京都

ZINE:同人誌の制作者が作品を手売りする イベントで、シカク出版の本を販売します。 ブースにはスズキナオさんもいます!

京都市勧業館みやこめっせ 1F

11:00~16:00

第二展示場

入場料 無料

2025/1/25 sat

butaii弾き語りライブ(仮)

ミュージシャンのbutajiさんのアコースティックライブ。 この日のために作ったZINEが特典につきます!

日時 2024/1/25(土) 14:00開場/14:30開演 特製ZINEつき

詳細は決まり次第シカクのSNS等でお知らせします!

10月のベストセラーブック! ~集計の都合で少し前のランキング~

- **~狸ケーキの図鑑** みんな大好きたぬきケーキの分類・研究本。 二子舎・鈴木二子 2ヶ月続けてのナンバーワンです!
- パチモノグッズコレクション そうさめものミキさん
- ダメな園芸 さくらいみか
- 2 コンピューターゲーム以外の 4 こんにちは!さよふしぎ たんていしゃです!2
 - さよふしぎたんていしゃ
 - 5 団地ブック7号 チーム4.5畳





コトリス 個人ブログ「喫茶のすたるじあ」管理人。11月25日発行「すごい喫茶店・カ フェ100」(イカロス出版)の関西編を監修しました。コアアップデートの影響でブログ は風前の灯火。閉鎖しないうちに読んで!

喫茶店をテーマにした本や雑誌の喫茶店特集は内装 やメニューを重視しているものが多く、「昭和レトロ」 「古き良き」「琥珀色」など、どの店に置き換えても成 立するような手垢のついた言葉で紹介されがちだ。映 える写真がメインで文章は添え物のよう。私には物足 りなかった。

山之内潦さんの「47 都道府県の純喫茶」は単なる喫 茶店案内本ではない。マスターやママの生きざまや店 の歴史を丹念な取材で捉えた記録である。私が関西圏 以外の喫茶店に足を運ぶようになったのも、店主との コミュニケーションを重視しているのも、ブログを書 き始めたのも山之内さんの影響だ。

ハイペースで日本各地のレトロスポットや喫茶店を 巡っている人は多いのだけど、繰り返し同じ場所に通 い、店主と交流している人は少ないと思う。喫茶店を 通して、人との関わり方を教えてくれた先達でもあ る。金原みわさんの「さいはて紀行」のあとがきに「彼 女には一線を飛び越えて対象に近づいていこうとする 熱情がある」と都築響一が書いていたけど、山之内さ んも同じだと思う。

10年前から山之内さんの足跡をたどる旅をしてい るが、年内に47都道府県を達成できそうだ。達成し たらお祝いしてね。

先日、文学フリマ東京という ZINE・同人誌の即売会に出店 した。それは文学フリマが初めて東京ビッグサイトという国内 最大級の展示会場で行われた回だった。開場前に出店者向けに

このようなアナウンスが流れた。「文学フリマの発起人である大塚英志氏は20年前、『現状の文学では即売会をしても ビッグサイトを埋めることは到底できない」と言いました。それから20年、小さな会議室から始まった文学フリマがつ いにここビッグサイトで開催することとなりました」

文学フリマだけが要因ではないだろうが、特にコロナ禍以降、「ZINE」という言葉の認知度の広がりや制作者の増加は めざましい。シカクを始めた 2011 年は「同人誌」という呼び方のほうが主流で一部の好事家が楽しむような世界だった のが、いまやZINEをたしなむことが本好きたちのトレンドと言っても過言ではないほどだ。

イベントが大きくなったり客層が変わることで居づらさを感じる意見もよく聞かれるが、個人的には共感する部分も

ありつつ総合的には嬉しさが勝っている。誰かが本を作るとき、内容がどんなもので あれ「他者や世界になんらかの影響を与えたい」という思いが必ずどこかにある。そ んな思いがこもった本が見ず知らずの誰かの手に渡ったときの感動や興奮はものす ごい勇気や力になる。プロの作家や有名人じゃなくても世界に影響を与えられるとい う実感を持つことは、一人の人生にとっても社会全体にとってもすごく大事で有意義 なことだと思う。その実感は作者でなく購入者にも伝わっているはずだ。

今年はこれまでで一番「最近 ZINE に興味があって、調べてこのお店に来ました」 とお客さんから声をかけていただける年になった。これがずっと続くのか一過性の ブームかはまだわからないが、これからも多くの人々がこの世界の楽しさや可能性に 触れてくれたら本屋冥利に尽きる。









